

インテリア ビジネスニュース

〈発行所〉(有)インテリア情報企画 〈発行人〉善明剛史 〈編集人〉石井貴志 ●本社=〒121-0064 東京都足立区保木間2-2-1-201 TEL03(5686)3188 FAX03(5686)2888 1995年(平成7年)10月31日第3種郵便物認可
 〈e-mail〉info@ibnewsnet.com 〈ホームページ〉www.ibnewsnet.com https://online.ibnewsnet.com 〈年間購読料〉15,000円 毎月10日・25日発行



あなたの暮らしに手ざわりを

あなたが住む場所の、日々の営みに垣間見える美しくて温もりある風景を、インテリアとしてみなさんの暮らしに届けたい。壁紙には、それができるのではないか?

やさしい風合いを持つ素材に、三浦・三崎をモチーフに生まれ出されたアートワークをさせて。

「うらうらうら」は、暮らしを照らすローカル雰囲のクラフト壁紙です。

『うらうらうら』ブランドサイト

<https://www.ura-ura-ura.com>

地元・三浦をイメージした 壁紙ブランド『うらうらうら』立ち上げ オリジナルデザインで差別化図る

In Detail (神奈川県三浦市)

か専門店
く闘えり
401

同業他社、もしくは大型店、ネットショッピングといつた競合に打ち勝つためには差別化が不可欠である。差別化にはさまざまな切り口があるが、インテリア・内装事業者にとって、自社オリジナルのデザインを持つことほど強力な差別化策はないのではないか。神奈川県三浦市において、内装工事をはじめ一般ユーザー向けのリフォーム・リベーションも手掛ける(株)Detai(尼野克明社長)は、今年十月にオリジナル壁紙ブランド『うらうらうら』(三シリーズ六アイデム)を立ち上げ、取引先や自社物件への提案、およびオンラインショップでの販売をスタートした。

「アーティストとのコラボレーションによって、私たちの住む町をモチーフにした壁紙ブランドをつくりました。海辺を歩いてそこから感じるようなイメージに沿って、尼野氏が内装職人としてのキャリアをスターとしたのは約二十五年前、当時二十歳の頃だった。地元の内装工事店に勤めて建売住宅を中心に壁紙施工に従事、その後は別の内装工事店に転籍し計約十年の修業期間を経て独立した。独立後も基本的には建売住宅などをメインに、白い壁紙を効率良く素早く仕上げることを重視して仕事を続けてきたそうだ。

それが変わるきっかけとなつたのが、「壁紙屋本舗／WALPA」(株)FILEXを展開する濱本氏の存在を知つてからだった。「まだWALPAを出店する前だったと思いますが、JAPANTEXの出展の際に自動車に輸入壁紙を貼つて大阪から東京へ来たことをSNSで知り、「なんだこの人は!」と思つて会いに行つたんですね。そのときに濱本さんのお話を聞いて考へ方がガラリと変わりました。白い壁紙でいると思える壁紙を提案した。それには自分で仕事を取る、仕事を生み出さなくてはいけないと強く思いました」(3面につづく)

●

新規取引様
募集中

全国 51 の拠点からあらゆる
内装資材と住設建材をご提供

窓辺の案件も
全てリックにお任せ下さい!

環境を考え快適で安全な空間創造に貢献する
インテリアと住設・建材の総合商社です。

リック株式会社

快適のプロです。 KONO GROUP



暮らしを美しく創造する
株式会社高野

東京本社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-26 高野ビル TEL.03-3254-6331㈹
 ■工事部
 ■卸部
 ■建装営業所／第一営業所 第二営業所 横浜営業所
 ■防水リニューアル部

ずっと
この子と
暮らせる家に。



フローリングでも、カーペットでもない。
ペットとの暮らしにあたらしい選択肢を。

サンゲツの “ペット向けフロア” シリーズ

Sangetsu
Joy of Design

“ペット向けフロア”シリーズ 特設サイトへ

株式会社サンゲツ www.sangetsu.co.jp





漂着1



パレット



抜け道のワナ

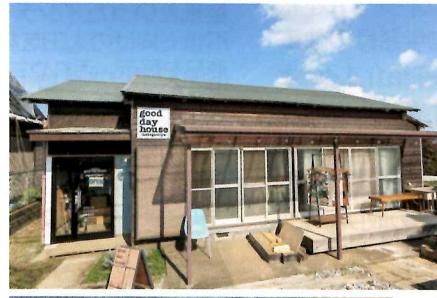
(一面から)
それからは、請負仕事をしながら三元請業者や現場に携わるインテリアコーディネーターなどに輸入壁紙を提案していく。そうだが評価は高いものの採用までには至らなかつた。

そこで尼野社長は、約十年前に三浦市内に六畳ほどの小さな壁紙ショップを出店し「WA LPA」が取り扱う輸入壁紙の販売をスタート、壁紙の魅力の発信をはじめたといふ。

結果的にはそれほど売れることもなく四年くらいで閉店するところになるのですが、シヨップを出したことにヨップを出了

専門店 かく聞えり

デザイン開発は新たな投資方法 リノベーション物件受注の切り口に

▲ショールーム外観
↑尼野氏。持っているのは見本帳

上げだった。「白い壁紙よりも、貼つていて楽しい壁紙を提案したい。そうして考え方の延長上で、自分が考えたデザイン壁紙をつくってみたいと思うようになりました。今のデジタル技術を活用すれば可能な限り話を一年前に瀬木さんに相談したところ、デザインさえあれば(株)WALPAで壁紙として出力するよと言っていた

尼野社長は株ファイルの協力を得たことで壁紙づくりを本格化、デザイン重視への転換を加速、同社の壁紙ビジネスは

結果的に三名のアーティストと契約し、一人「デザイン計六デザイナー」の壁紙を製作した。その一部を紹介すると、「漂着」(小澤真弓氏作)は人が来てはいけませんが、女性職人二名を迎え、移転、施工スタッフも増えていました。

「輸入壁紙、あるいはヨン物件の受注も着実に増えてきました。請負仕事も建売から注文住宅、リノベーションなどをこだわった物件がメインに変わっていました」

そこで、尼野社長の壁紙に対する思いはインテリア・大類尚子氏が水彩絵の具で描くスケッチをモチーフにしたものが、今回の「テキスタイルデザイン」だ。当社の「抜け道のワナ」(カワグチタクヤ氏作)は

港町ならではの漁網を想起させるデザインで、いずれも他にはない個性があります。これまでを共同で行った。「Kノフさんはむしろ内装事業者として、

ともと大胆なデザインを取り入れる建築・リノベーションを積極的に提案している建築事務所ですので、相談する

「Kノフさんやアーティストとの契約な

どそれなりに費用は掛かりましたが、自社だけのデザインを持つことでできたことは投資としてとても有益だと思っています」

インテリア専門店にて投資方法はさまざまあるが、オリジナルデザイン開発という方針は新しい投資の考え方といえる。今回は壁紙のデザインだが、当然ながら他のアイテムへの横展開も可能だ。もちろん在庫は不要で、オーダーメードで製造すればいいから廃番にすることもない。まさにデジタル技術が可能とした新たなインテリアビジネスの形である。

「これからもデザイン開発は続けていきます。また壁紙の販売だけでなく、この壁紙を切り口にリフォーム・リノベーション工事受注につなげる相乗効果も生み出したいでですね」と語る尼野社長。オリジナルデザインを持つ内装事業者として、今後の展開が注目され



アスワン株式会社 本社/〒550-0015 大阪市西区南堀江1丁目11番1号 TEL 06-6532-0171代 URL https://www.aswan.co.jp

東京/TEL 03-5439-5415代 名古屋/TEL 052-918-8411代 大阪/TEL 06-6745-2106代 広島/TEL 082-278-0020代 福岡/TEL 092-292-6310代 アスワン北海道㈱/TEL 011-731-9777代

C'est la vie

Edition 8

見つけた！私の一枚

2024.8
NEW
RELEASE



セラヴィEdition8
デジタルカタログ
はごちらから